

培われてきた文化に新しいページを 合唱団の活躍に思う

今年度、部活動や特別に編成した駅伝チーム、各種ボランティア活動、「ともにチーム長町プロジェクト」等での生徒達の活躍は目覚ましく、とても頼もしく感じています。地域の中でも高い評価をいただき、長町地区の様々な団体や町内会、小学校からもお声掛けいただき、ご招待を受け、生徒達の地道な活動をお認めいただいている事はとても嬉しい事です。これも保護者の皆様のご協力・ご支援があってこそそのものと、心より感謝申し上げます。

さて、今年度も本校の合唱団が県大会や東北大会で大活躍しました。私達、長町中学校は教職員や生徒達自らが「合唱の長町」と称するような長きにわたっての伝統が脈々と引き継がれています。同窓会役員の方々からも「合唱はずっと長町の伝統だからね。」とよく話題になります。しかし、一つの中学校で、これほど長い期間、一つの文化として根付き、それを絶やさないようにする事は大変な事だと思います。

私達の地域には、小学校での合唱団の活動はありませんので、中学校に合唱の文化があり、しかもずっと長い年月継続されている事は、素晴らしい事だと思います。

伝統とは、同じ事がただ繰り返されるのではなく、「心」や「技能」が伴って引き継がれなければ、いずれ失われてしまうと思うのです。昨年度の卒業生も修学旅行で「合唱の長町なので、ホテルの方にお礼は合唱でしょう。」という場面がありました。授業時間、校長室の窓を開けると、いつも、音楽室から生徒達の美しい歌声が聞こえます。伝統は生き続けています。

ところで、「合唱の長町」と呼ばれる私達の学校の合唱部は、大人数がいる部活動ではありません。しかし、この合唱部の生徒達の活動が大きな基盤となっていることは確かな事です。地道にコンサートや地域での活動を行いつつ、合唱団のメンバーの中核を担っています。そして、合唱団は、入学式・卒業式合唱団、合唱コンクール合唱団、コンクール合唱団等、人員の規模を変え、しかも継続性を持ちつつ、年間を通して活動しています。合唱団の活動に参加できなくても、自分の部活動等の活動を頑張りながら、合唱コンクールではほとんどの生徒達が「合唱の長町」にプライドを持ち、素敵なハーモニーを奏でています。その誇りが素晴らしい校歌合唱になり、新しく転任してきた教職員を驚かせ、新入生を驚かせています。やがて学校生活を送るすべての生徒や教職員が「合唱の長町」を意識します。なかなか他の中学校では見られない事です。これらの活動が絶え間なく続いているのは、合唱部の存在、そして全校生徒の意識が大きな支えになっているのは間違いありません。

さて、今年の合唱部・合唱団の活躍は例年以上に目を見張るものがあり、3年生だけではなく、1、2年生も大活躍し、まさしく「縦割り」の良さを体現しました。私は、先日実施された全日本合唱コンクール東北大会に帯同しましたが、生徒達の意欲的な取組に触れ、改めて生徒達の可能性の大きさを実感しました。

一つの文化がずっと継続され、常に新しい形で歴史が更新されていく事は、本当に素晴らしい事です。これは、これまでの卒業生、そして今、長町中学校で生活しているすべての生徒、教職員で創り出したものです。これからも大切に育てていきたいものです。